

3.千葉県債について



令和6年度の発行計画

- 千葉県では多様な年限（5年債、10年債、20年債、30年債）を発行しています。
- 発行に当たっては、地方債全体の発行状況を踏まえつつ、時期の平準化にも努めています。
- 本県債の需要が高いと判断された場合に、発行金額の増額や新たな年限の発行等に充てる、フレックス枠を設定しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時期 未定分	計
10年債	200★	200		200					200			200		1,000
5年債		200									200			400
5年債(ESG債)						150★								150
20年債	200★						200★							400
定時償還(20年)							100★							100
定時償還(30年)														-
共同発行市場公募地方債			100	100	50			50						300
共同発行市場公募地方債 (ESG債)													10	10
計	400	400	100	300	50	150	300	50	200		200	200	10	2,360

- ※ 上記の発行計画は変更する場合があります。
- ※ ★がついている発行は主幹事方式による発行としています。
- ※ フレックス枠は本県債の需要が高いと判断された場合に、発行金額の増額や新たな年限の発行等に充てることとしています。
- ※ 「共同発行市場公募地方債」は、37の道府県・政令市が共同で発行する市場公募債です。

ESG債の発行 ～千葉県サステナビリティファイナンス・フレームワーク～

- 令和5年度に千葉県として初となるサステナビリティファイナンス・フレームワークを公表しました。

本フレームワークに基づいて実施可能なファイナンスの種類

グリーンファイナンス	ブルーファイナンス	グリーン/ブルーファイナンス	ソーシャルファイナンス	サステナビリティファイナンス
■ グリーン適格プロジェクトのみを資金用途とする	■ ブルー適格プロジェクトのみを資金用途とする	■ グリーン適格プロジェクト及びブルー適格プロジェクトのみを資金用途とする	■ ソーシャル適格プロジェクトのみを資金用途とする	■ グリーン/ブルー適格の何れか若しくは双方と、ソーシャル適格を資金用途とする

1

調達資金の用途

- 調達した資金の用途は、千葉県総合計画の「重点的な施策・取組」に記載する施策に関連した対象プロジェクトに充当予定です
- 各プロジェクトは、いずれも新規ファイナンスのみを対象としています

2

プロジェクトの評価と選定プロセス

- 調達した資金を充当するプロジェクトは、地方自治法及び関係諸法令に基づき、必要な議会での審議を経て議決され、予算として計上されます
- プロジェクトは、財政課と事業所管課が調整の上、対象プロジェクトに適合する取組を選定し、財政課長が最終決定します
- なお、プロジェクトの選定にあたっては、環境に与えるネガティブな影響についても確認しており、選定されたプロジェクトは関係各局との協議を経て最終決定します

3

調達資金の管理

- 調達資金と資産の紐づけ方法と追跡管理の方法
 - 地方自治法に基づき、地方公共団体における各会計年度における歳出はその年度の歳入をもってこれに充てられます。従って、調達した資金は、当該年度中に全て対象プロジェクトに充当します。また、個別の充当状況に関しては、各所管課と連携して総務部財政課で充当状況の把握を行い、発行超過等が起こらないよう管理します
 - 会計年度の終了時には、プロジェクトを含む千葉県の全ての歳入と歳出について執行結果と決算関係書類が作成され、県の監査委員による監査を受けます。その後、監査委員の意見とともに決算関係書類は県議会に提出され、議会の認定に付されます
- 調達資金の追跡方法にかかる内部統制
 - 調達した資金については、年度終了後、充当プロジェクト名及び充当金額を取りまとめ、財政課長にて確認します
- 未充当資金の管理方法
 - 調達資金の充当が決定されるまでの間、調達資金は本県の会計管理者が指定金融機関の預金口座において現金等で管理します

4

レポートニング

- 資金の充当状況に関する開示の方法
 - 充当プロジェクト名及び充当金額については、本県ウェブサイト上において起債翌年度に開示します。なお、調達資金の充当計画に大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します
- インパクト・レポートニングに関する開示の方法
 - 充当プロジェクトの実施による環境・社会的課題の解決に関する環境改善効果や社会的成果を記載するレポートニングについては、本県のウェブサイトにおいて起債翌年度に開示します。なお、プロジェクトに関し、当初想定から大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します
- インパクト・レポートニングの内容
 - 環境・社会的課題の解決に関する環境改善効果や社会的成果として、実務上可能な範囲において定めたレポートニング項目を開示する予定です

ESG債の発行 ～令和6年度ESG債発行概要～

- 令和6年9月に発行したサステナビリティボンドの概要は以下の通りです。
- 県内投資家を中心に、54件の投資家から投資表明を獲得することができました。

項目	概要
債券名称	千葉県令和6年度第5回公募公債（サステナビリティボンド）
年限	5年（満期一括償還）
発行額	150億円
各公債の金額	1,000万円
利率	0.580%
発行時期	2024年（令和6年）9月6日（金）条件決定、9月25日（水）発行
主幹事証券会社	野村証券株式会社（事務）、大和証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
第三者評価機関	第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（ICMA）等による各種原則・ガイドラインへの適合性について、最上位である「SU1（F）/Blue1（F）」の評価を獲得
購入対象	法人投資家
投資表明件数	54件

ESG債の発行 ～令和6年度 主な充当予定事業～

- グリーンプロジェクトでは、河川整備や道路の無電柱化、県有建築物の省エネルギー化など
- ブループロジェクトでは、洋上風力発電のメンテナンス港として名洗港の整備など
- ソーシャルプロジェクトでは、交通安全施設として歩道整備や、老人福祉施設整備事業などに充当を予定しています。

グリーンプロジェクト

項目	主なプロジェクト（事業内容）
河川・海岸・砂防整備事業	<p>【河川】</p> <ul style="list-style-type: none"> 河道拡幅・護岸整備等、ダムの施設更新及び機能確保等、排水機場・水門等の機能確保、堤防・護岸の補修等、河道内の堆積土砂撤去及び竹木伐採、危機管理型水位計や河川監視カメラの増設等 <p>【海岸】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高潮、海岸浸食対策等の海岸保全 <p>【砂防】</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂防施設整備・地すべり対策・急傾斜地対策等
農地防災事業	<ul style="list-style-type: none"> 排水施設整備等の湛水防除、地すべり対策等
治山施設等事業	<ul style="list-style-type: none"> 山崩れや地すべりに対する予防工事・被害地の復旧、海岸防災林等の造成等 搬出間伐 林道の整備
道路防災整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 無電柱化 道路法面工事
港湾整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 水門、排水機場の改修整備、護岸整備、胸壁改修等
県有建築物の省エネルギー化	<ul style="list-style-type: none"> 合同庁舎整備等

ブループロジェクト

項目	主なプロジェクト（事業内容）
洋上風力発電のメンテナンス事業	<ul style="list-style-type: none"> 名洗港整備
漁場の整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 海域環境に配慮した漁場の整備 水産総合研究センター再編整備

ソーシャルプロジェクト

項目	主なプロジェクト（事業内容）
交通安全施設の整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子ども、障害者などが利用しやすい交通安全対策としての施設整備等
防災行政無線再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 衛星系無線設備再整備工事等
教育施設・設備充実に係る整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 県立学校の長寿命化対策・施設整備・トイレ改修、特別支援学校の施設整備、私立学校の耐震化等
児童相談所施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 児童相談所の施設整備等
千葉リハビリテーションセンター再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 千葉リハビリテーションセンターの再整備等
特別養護老人ホーム等整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉施設整備事業補助
公営住宅建設事業	<ul style="list-style-type: none"> 県営住宅の建設、建替、既存住宅の改善工事等

ESG債の発行 ～令和5年度 主な充当実績①～

- グリーンプロジェクトにおいて、河川整備や県有建築物の省エネルギー化など、水災害発生時の浸水、土砂被害の軽減への対応やエネルギー利用削減等に資する以下の事業に充当しています。

グリーンプロジェクト

事業内容	主なプロジェクト	充当金額(千円)	効果/実施事業内容
河川・海岸・砂防整備事業	【河川】 ■ 河道拡幅・護岸整備等、ダムの施設更新及び機能確保等、排水機場・水門等の機能確保、堤防・護岸の補修等、河道内の堆積土砂撤去及び竹木伐採、危機管理型水位計や河川監視カメラの増設等	5,025,900	【整備実績(箇所数含む)】 ・河道拡幅・護岸整備等：26河川、47箇所 ・危機管理型水位計：21河川、22箇所 ・河川監視カメラ：12河川、12箇所 ・187箇所の護岸補修や堆積土砂撤去 ・10排水機場、9水門の点検や修繕工事 ・2ダムの堆積土砂撤去 【整備距離(km)】 ・6.04km
	【海岸】 ■ 高潮、海岸侵食対策等の海岸保全	1,000,100	【整備実績(箇所数含む)】 ・10海岸、21箇所 【整備距離(km)】 ・0.77km
	【砂防】 ■ 砂防施設整備・地すべり対策・急傾斜地対策等	1,168,300	【整備実績(箇所数含む)】 ・44箇所
農地防災事業	■ 排水施設整備等の湛水防除、地すべり対策等	427,700	【整備実績(箇所数含む)】 ・18地区 ・排水機場：3箇所 ・ため池：3箇所 ・地すべり防止施設：1箇所 【整備面積(ha)】 ・上記に係る整備面積：393.5ha



例) 河道拡幅・護岸整備等



例) 排水機場の整備

ESG債の発行 ～令和5年度 主な充当実績②～


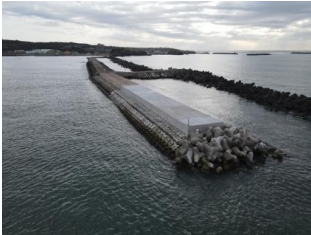

事業内容	主なプロジェクト	充当金額(千円)	効果/実施事業内容
治山施設等事業	<ul style="list-style-type: none"> 山崩れや地すべりに対する予防工事・被害地の復旧、海岸防災林等の造成等 撤出間伐 林道の整備 	347,200	<p>【整備実績(箇所数含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山地治山事業：君津市大坂 ほか36箇所 防災林造成事業：横芝光町尾垂 ほか10箇所 保安林総合(緊急)改良事業：富津市富津 ほか5箇所 保育事業：白子町幸治 ほか4箇所 <p>【森林整備面積(ha)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記に係る事業実施面積：約50ha
			 <p>例) 海岸防災林等の造成</p>
道路防災整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 無電柱化 道路法面工事 	1,377,900	<p>【整備実績(箇所数含む)/整備距離(km)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無電柱化：52箇所、整備延長:20.2km 道路法面工事：20箇所
			 <p>例) 道路法面工事</p>
港湾整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 水門、排水機場の改修整備、護岸整備、胸壁改修等 	112,000	<p>【整備実績(箇所数含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水門の改修整備：1箇所 排水機場の改修整備：6箇所 胸壁の改修：1箇所
県有建築物の省エネルギー化	<ul style="list-style-type: none"> 合同庁舎整備等 	600,000	<p>【エネルギー削減量】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー消費量(削減率)：0.53 (47%削減)

合計 (グリーン)	充当金額	10,059,100
	充当比率	67.06%

ESG債の発行 ～令和5年度 主な充当実績③～

- ブループロジェクトにおいては、洋上風力発電のメンテナンス港としての名洗港の整備や漁場の整備など、温室効果ガスの排出量削減また自然資源の持続可能な管理に資する以下の事業に充当しています。

ブループロジェクト




事業内容	主なプロジェクト	充当金額(千円)	効果/実施事業内容
洋上風力発電のメンテナンス事業	■ 名洗港整備	291,100	<p>【名洗港の整備概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋上風力発電事業の維持管理の拠点としての整備 <p>【名洗港の整備進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存物揚場改修工事 ・既設防波堤改修工事 ・新設防波堤実施設計等 <p>【銚子沖の想定計画発電容量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・39.1万kw(1.26万kw×31基)   <p>例) 名洗港整備事業</p>
	■ 海域環境に配慮した漁場の整備	4,000	<p>【整備実績(箇所数含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2箇所(外房地区と内湾地区における人工魚礁整備など)
漁場の整備事業	■ 水産総合研究センター再編整備	8,800	<p>【整備実績(箇所数含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3箇所(東京湾漁業研究の拠点である東京湾漁業研究所、内水面漁業研究の拠点である内水面水産研究所、種苗生産施設であるアワビ・ヒラメ中間育成施設)  <p>例) 水産総合研究センター再編整備</p>

合計 (ブルー)	充当金額	303,900
	充当比率	2.03%
合計 (グリーン) (ブルー)	充当金額	10,363,000
	充当比率	69.09%

ESG債の発行 ～令和5年度 主な充当実績④～

- ソーシャルプロジェクトにおいては、交通安全施設としての歩道整備や老人福祉施設整備など、社会的な課題解決に資する以下の事業に充当しています。

ソーシャルプロジェクト

事業内容	主なプロジェクト	充当金額(千円)	効果/実施事業内容		
			アウトプット	アウトカム	インパクト
交通安全施設の整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子ども、障害者などが利用しやすい交通安全対策としての施設整備等 	2,592,700	【整備内容】 ・通学路等における交通安全施設の整備(歩道整備、交差点改良、防護柵の設置、路肩のカラー舗装、路面標示の設置等)	【交通事故死亡者数】 ・令和5年中交通事故死亡者数：127人(県内計)	・交通安全対策の推進  例) 歩道の整備
特別養護老人ホーム等整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉施設整備事業補助 	1,544,300	【整備内容】 ・特別養護老人ホーム等の整備	【整備床数(定員数)】 ・整備床数：500床(短期入所生活介護を含む)	・高齢者が安心して暮らせる社会創り  例) 特別養護老人ホーム等の整備
公営住宅建設事業	<ul style="list-style-type: none"> 県営住宅の建設、建替、既存住宅の改善工事等 	500,000	【整備内容】 ・金ヶ作県営住宅の整備 ・既存住宅の改善工事	【整備戸数】 ・金ヶ作県営住宅の整備：56戸 ・改善工事：624戸	・誰一人取り残さない社会環境の整備  例) 金ヶ作県営住宅3号棟の整備

合計 (ソーシャル)	充当金額	4,637,000
	充当比率	30.91%

ESG債の発行 ～グリーン共同債について～

- 千葉県はグリーン共同発行市場公募地方債（グリーン共同債）にも参加しています。
- 個別債や、グリーン共同債の発行により、千葉県のSDGs達成に向けた機運醸成を図っていきます。

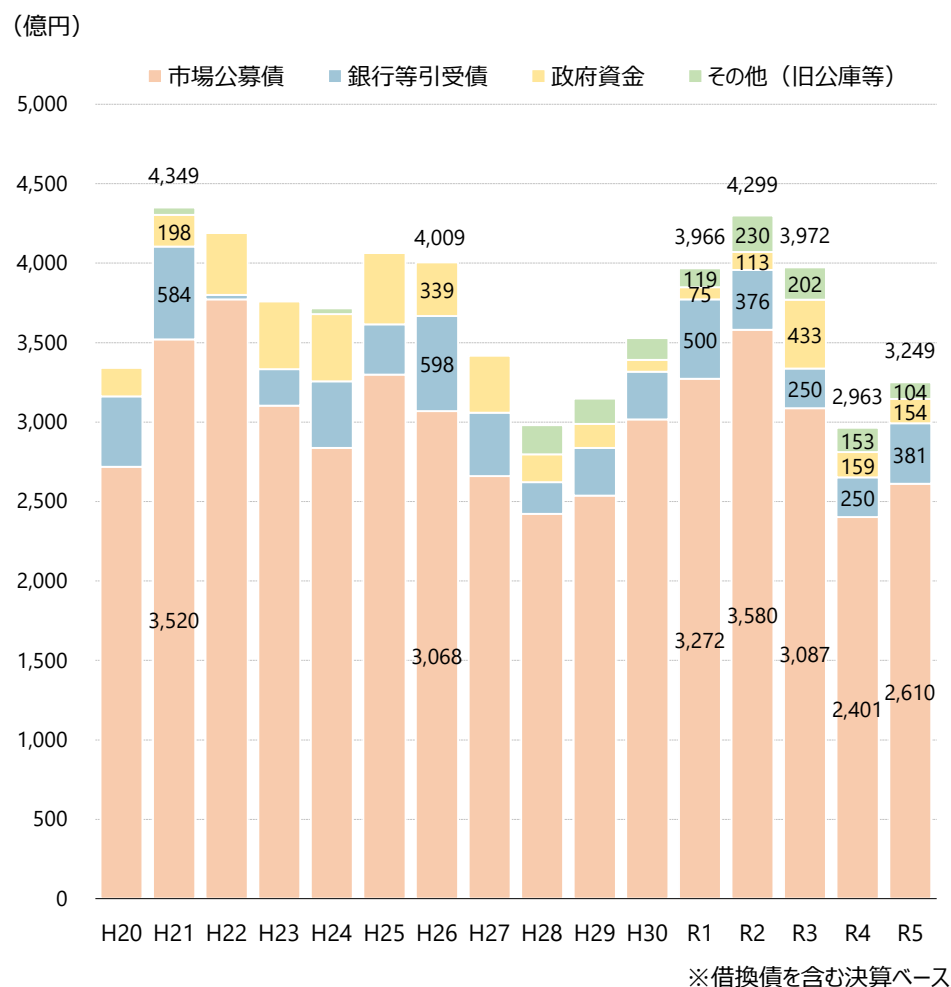
令和5年度グリーン共同債の概要について

項目	内容
① 年限	10年（満期一括償還）
② 発行額	総額1,064億円
③ 発行時期	令和5年11月、令和6年3月
④ 主幹事会社	野村証券株式会社（事務、ストラクチャリング・エージェント）、みずほ証券株式会社、大和証券株式会社
⑤ 適合性評価	R&I/JCRの2社から取得 （フレームワークおよび個別事業の適合性確認に対して外部評価を取得）
⑥ 購入対象	機関投資家向け
⑦ 参加団体（42）	北海道、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、 千葉県 、新潟県、富山県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、京都市、堺市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市

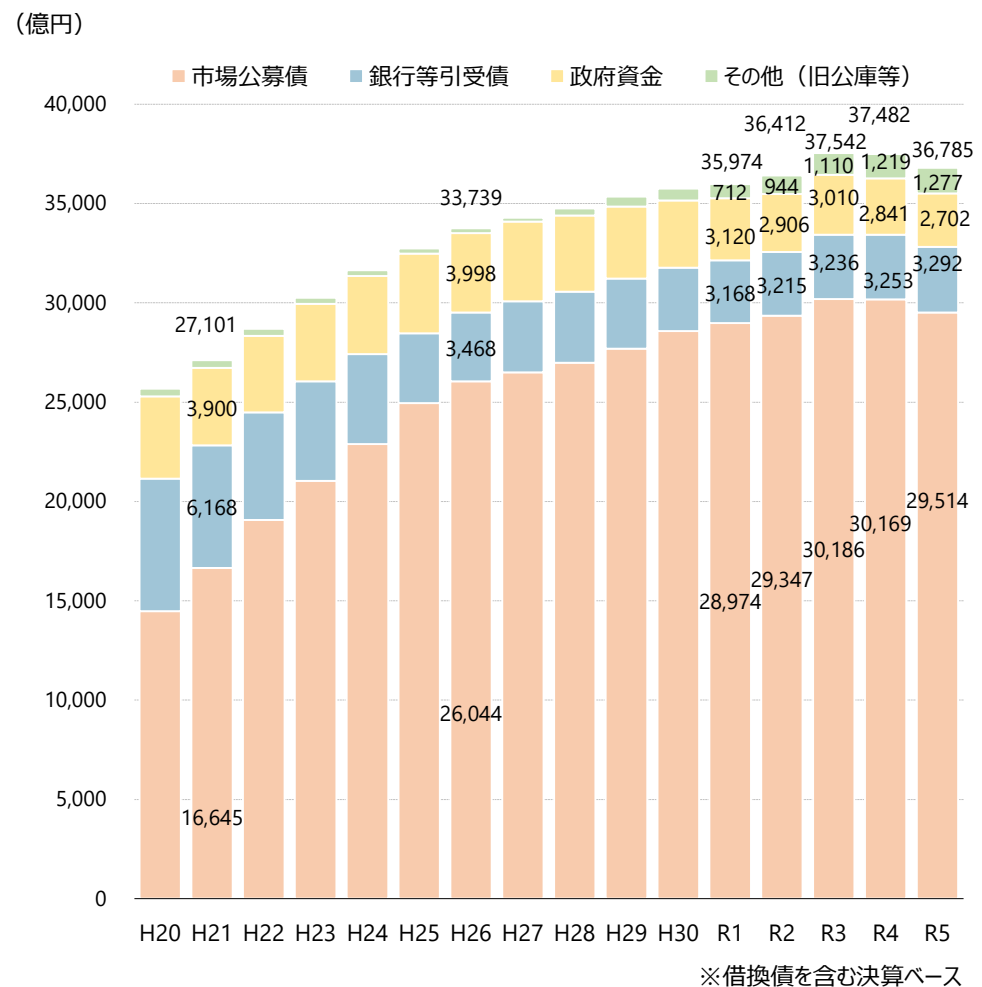
資金別県債発行実績／残高の推移

- 本県は多様な方法により資金調達を行っていますが、そのうち市場公募債の発行が約8割を占めています。

資金別県債発行実績の推移

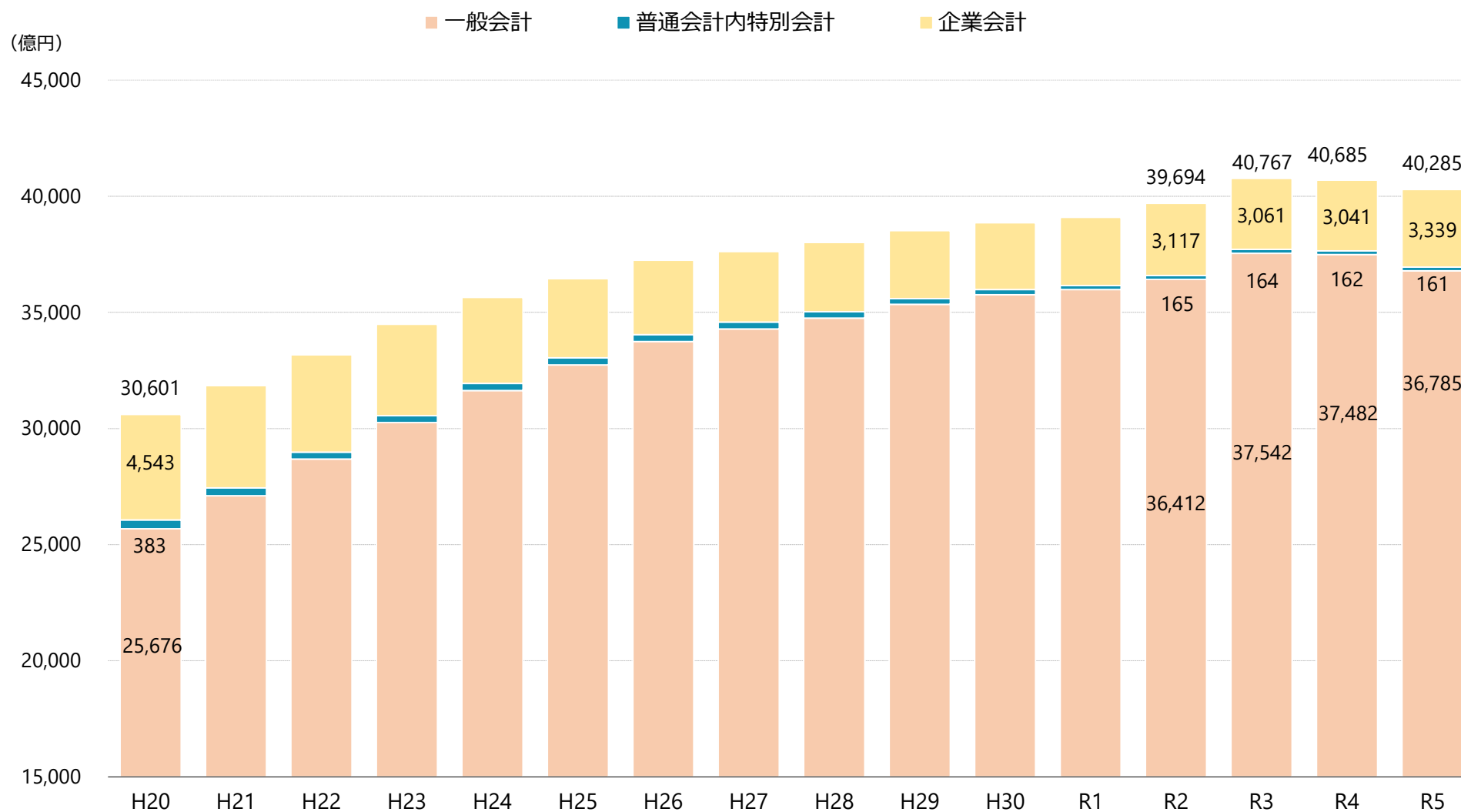


資金別県債残高の推移 (一般会計)



会計別県債残高の推移

- 一般会計による起債残高が9割以上を占めています。



千葉県債引受シ団一覧／県債の充当事業



- 5年債、10年債については、引受シンジケート団を組成し、24の金融機関が一定シェアで県債を引き受けており、引受シ団およびシェアは下表の通りです。
- 令和5年度の起債分は土木債や臨時財政対策債、借換債を中心に充当しています。

千葉県債引受シンジケート団シェア一覧（令和6年度）

(単位：%)

銀行	シェア	証券会社 (◎ = 証券幹事候補社)	シェア
1 (株)千葉銀行（幹事行）	20.5	1 ◎野村証券(株)	8
2 (株)みずほ銀行（副幹事行）	12.5	2 ◎大和証券(株)	8
3 (株)千葉興業銀行	3	3 ◎SMBC日興証券(株)	8
4 (株)京葉銀行	2	4 ◎三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	7.5
5 (株)三井住友銀行	1.4	5 ◎みずほ証券(株)	7.5
6 (株)三菱UFJ銀行	1	6 ◎東海東京証券(株)	4.5
7 (株)あおぞら銀行	0.4	7 岡三証券(株)	2
8 三井住友信託銀行(株)	0.1	8 ゴールドマン・サックス証券(株)	2
9 (株)SBI新生銀行	0.1	9 BNPパリバ証券(株)	0.5
銀行 計	41.00	10 (株)SBI証券	0.5
		11 しんきん証券(株)	0.5
		12 岩井コスモ証券(株)	0.5
		13 丸三証券(株)	0.5
		14 ちばぎん証券(株)	0.5
		15 パークレイズ証券(株)	0.5
		上 第一幹事上乘せ分	5
		乗 第二幹事上乘せ分	2
		せ インセンティブ枠	1
		証券会社計	59.0

※ 上乘せの配分は起債ごとに決定

県債の充当事業（一般会計・令和5年度）

(単位：億円)

発行県債の充当先	充当額	令和5年度充当の主な事業
1 総務債	36	県有施設再整備事業 28億円 文化会館施設整備事業 3億円
2 民生債	26	社会福祉施設整備事業 26億円
3 農林水産業債	61	
農林業施設	40	農業基盤整備事業 22億円 農地防災事業 9億円 治山事業 5億円
水産関連施設	21	漁港建設事業 16億円 水産業振興事業 5億円
4 土木債	700	
道路・街路施設	424	道路事業 390億円 街路事業 34億円
河川海岸港湾施設	240	河川海岸事業 212億円 港湾事業 28億円
都市関連施設	32	公営住宅建設事業 13億円 公園整備事業 11億円 土地区画整理事業 8億円
その他	4	土木事務所等解体事業 4億円
5 教育債	22	高等学校整備事業 17億円 特別支援学校整備事業 3億円
6 警察債	45	警察署建設事業 22億円 交通安全施設整備事業 16億円
7 その他	9	高等技術専門校改修事業 4億円 災害復旧事業 2億円
8 臨時財政対策債等	461	臨時財政対策債 461億円
9 借換債	1,889	H25年度発行分 1,640億円 H30年度発行分 249億円
計	3,249	